

2010 World Media Festival

里見繁社会学部教授が

「The 2010 intermedia-globe GRAND AWARD」を受賞

関西大学社会学部里見繁(さとみ・しげる)教授が5月19日(水・現地時間)にドイツ・ハンブルクで開催された2010 World Media Festivalで「The 2010 intermedia-globe GRAND AWARD」を受賞しました。

今回受賞した作品は、毎日放送制作のドキュメント番組「映像'09 逃げる司法 英語版 False Charges: Prosecution that Hides, Courts that Run」で、里見教授はプロデューサーおよびディレクターとして番組の制作に携わりました。

このドキュメンタリー番組は、栃木県足利市で1990年に女儿が殺害された「足利事件」や、1967年に茨城県布川で発生した強盗殺人事件に焦点をあて、この国にいかにか冤罪が多いか、そしてなぜ裁判所がそれを見過ごしてきたかを追求しています。

里見教授は今回の受賞について、「DNA鑑定など難しい内容を含んだ番組にもかかわらず、高い評価をいただき、感謝しています。」と今の心境を語っています。

なお、里見教授は、第47回ギャラクシー賞(6月3日、ウェスティンホテル東京にて授賞式開催)テレビ部門入賞作品である、映像'09「DNA鑑定の呪縛」(毎日放送制作)においても、プロデューサーおよびディレクターとして制作に携わりました。

【里見繁教授プロフィール】

1951年生まれ。

東京都立大学法学部卒業後、毎日放送に入社。報道部記者を経てテレビドキュメンタリー番組制作を一筋に担い、制作したドキュメンタリー番組は100本を超える。これらの作品で数々の賞を受賞している日本映像ドキュメンタリストの第一人者。主な受賞として、1995年、2002年の日本民間放送連盟最優秀賞、2002年芸術祭・優秀作品賞、2007年日本放送文化大賞グランプリなどがある。

毎日放送退職後、30年のドキュメンタリー制作で得た「視点」「技」を学生に教えたいとの強い意向から、2010年4月、関西大学社会学部教授に就任

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 小野、木村

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0075 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp